

平成 27 年度 第 1 回東淀川区教育行政連絡会（小学校・中学校）議事要旨

1 日 時 平成 27 年 6 月 25 日（木） 10：00～12：00

2 場 所 東淀川区役所

3 出席者

（1）中学校：柴島中学校長、瑞光中学校長、中島中学校長（むくのき学園）

東淀中学校長、井高野中学校長、新東淀中学校長、大桐中学校長

小学校：東淡路小学校長、西淡路中学校長、菅原小学校長、新庄小学校長

大隅東小学校長、豊里小学校長、啓発小学校長（むくのき学園）

小松小学校長、淡路小学校長、下新庄小学校長、井高野小学校長

大桐小学校長、豊新小学校長、東井高野小学校長、大道南小学校長

（2）区役所：東淀川区長、副区長

市民協働課長、市民協働課長代理、保健福祉課長、子育て企画担当課長

子育て企画担当課長代理、教育担当課長代理、保健主幹、保健担当課長代理

保健福祉課担当係長、窓口サービス課担当係長

4 主な議題

（1）分権型教育行政への転換と区としての学校支援策の進捗状況について

保健福祉課から「分権型教育行政への転換と区としての学校支援策の進捗状況について」を説明した後、意見交換等を行った。

（学校長）

- ・小中学校土曜授業へのゲストティーチャー派遣事業について、業者の選定経過についてお聞きしたい。
- ・校長会の後に打合せさせていただいた時に、ゲストティーチャー派遣事業の「子どものストレスマネジメント教育事業」について、（アンケートの）質問項目に問題があるのではないかと指摘があったかと思う。その件についてお聞きしたい。
- ・土曜授業のゲストティーチャー派遣事業について、小学 6 年生で 3 回を土曜授業でというのは、他の授業の参観ができないので、1 回は平日にお願いしている。平日でも可能なら来年度は分かりやすい事業名にしてほしい。
- ・社会的課題解決に向けた区民提案型委託事業（学校編）について、昨年も今年も申請したが、必ず地活協から相談がある。地域と共に解決するというので、窓口が地活協になるという事業であれば、非常に限られてくる。地域が人材を見つけられるかとなると非常に難しい部分が出てくると思うので、そのあたりを整理していただきたい。
- ・ゲストティーチャー派遣事業について、対象が（小学校は）6 年生であるが、5 年生も対象にしていただきたい。

- ・ゲストティーチャー派遣事業の子どもの情報モラル教育事業を、夏休みまでに実施できるようにお願いしたい。5月以降でないとは実施できなければ、2学期以降でないとは実施が難しい。
- ・ゲストティーチャー派遣事業について、学校の課題も違うので、5点くらいのテーマから3点を選択できるようにしていただければ、地域の特性にあった施策ができるのではないかと。
- ・ゲストティーチャー派遣事業について、既に3事業とも実施した。感想としては、情報モラル教育事業はプラスであった。ストレスマネジメント教育事業については、やり方も含めて検討の余地があると感じた。「いのちと性」の教育事業については、昨年からの継続実施であり、引き続きお願いしたい。

(区役所)

- ・業者選定の審査基準はホームページに掲載しているが、事業の主旨を理解しているか、計画性等、いくつか審査項目があり、外部の選定委員により選定を行った。
- ・アンケート内容については、現在、担当と事業者で調整をしている。ご指摘をふまえ、今後慎重に対応してまいりたいと思う。
- ・土曜以外でも実施可能なので、「等」を入れるなど、事業名について、来年度検討していきたいと思う。
- ・社会的課題解決に向けた区民提案型委託事業（学校編）について、あくまで公募ということで、地活協ありきではない。NPO等も参入可能。地域と連携した仕組みを作ろうという目的はあるが、地域でまだ発掘されていない人材や、地域の資源をつなげていくという趣旨である。地活協と契約していない地域もある。そういったところは、学校や地活協がご存じでない人材がいてということ、それをきっかけとして、学校と地域人材を広げていただければと思ってる。
- ・ゲストティーチャー派遣事業の対象学年については、来年度の課題とさせていただきたい。
- ・ゲストティーチャー派遣事業の実施時期について、区役所としても早めることはできないかと課題認識はしている。教育委員会と調整、検討は進めていきたいと思っている。また、これは区の話なので、校長経営戦略予算のスケジュールに引っ張られないよう、違うフレームを作ってみようかと考えている。

(2) 学力向上について

豊新小学校から、英語教育活動の取組みについて報告があった。

(3) 体力向上について

井高野中学校から「がんばる先生支援」の取組みについて報告があった。

(4) 食育の進め方について

むくのき学園から、食育の現状について報告があった。

(区役所)

- ・小学校は給食の文化があるが、中学校は給食の文化がないので、7年生から8年生(中学1年生から2年生)の教員に対して、食育について何か取組みはされたのか。

(学校長)

- ・中学校は家庭科があるので、その中で充分やっている。小中の壁なく栄養教育、「食育つうしん」等、全教育活動を通じて行っている。

(5) 防災教育について

瑞光中学校、井高野中学校から防災教育の取組みについて報告があった。

(6) その他

(学校長)

- ・小、中学校含め、学校のまわりに防犯カメラの設置を積極的に対応していただきたい。
- ・学校選択制の次年度の受け入れ人数が、1学級分増やして、30人以上となっている学校が多い。理由はあるのか。また、30人くらいを受け入れた場合、学校選択制により、交通機関を使用して登校する児童も出てくるので、家庭訪問の際の予算面や人的な面の裏付けはあるのか。
- ・ゲストティーチャー事業等、区役所から事業者を派遣する場合は、実績等も含めて選定いただけたらと思う。
- ・教員の家庭訪問や研修等で出張が多くあるが、旅費の予算が不足している。校長経営戦略予算からまわせないのか。今後検討していただきたい。
- ・防犯カメラについて、以前の学校で振興町会から区役所に連絡して、担当が設置した。抑止力だけではなく、近隣で何かあった時にもよく利用されていた。子どもの安全のために学校の周りも防犯カメラ設置をお願いしたい。
- ・芝生について、地域の方が熱心にやってくれているが、予算が厳しい。芝生は本当に効果的で、もし条件が許すならもっと広くしたいと思っているので、また支援いただきたい。
- ・本校は府の制度で芝生化を実施した。来年、校舎の増築で500㎡の芝生がなくなるので、また芝生化について検討いただきたい。

(区役所)

- ・防犯カメラについては、今年度は東淀川警察署のアドバイスのもと、優先的に犯罪多発地帯に設置する予算はある。地域活動協議会でも予算の中で防犯カメラを設置すると聞いている。予算立てが可能なら学校からもお願いしたい。
- ・学校選択制の受け入れ人数について、平成24年に教育委員会から「就学数の改善に

ついて」の冊子に、受け入れ可能な学級数については、必ず入学を保証する通学区域内の就学予定の児童生徒の学級数に、1学級分の増加を上限とすると書いている。これに基づき、教育委員会で人数を算定している。

- ・ゲストティーチャー派遣事業について、区役所実施になると委託となり、学校実施になると講師派遣となる。どちらのケースもメリット、デメリットはでてくる。他の方法も含めてご意見いただけたらと思う。
- ・業者選定はプロポーザル方式で行うと、労働者派遣法によって講師に対して区役所は指揮権がない。
- ・直接執行で講師謝礼を払うのも情報を集めるのが大変。生涯学習ルームで資格のある方を登録して派遣する制度がある。区でも人材登録をして整理していきたい。
- ・教員の旅費の不足について、旅費は府費、校長経営戦略予算は市費となっている。旅費の不足は、大きな課題と認識している。
- ・平成22年から24年まで、市民局が安全対策の関係で24区一律に防犯カメラの補助があった。振興町会からの申請をあげていただいて、学校の周りに設置している区もある。この補助金はもうないので、区で今後も防犯カメラの予算を要求しようと思っている。
- ・芝生については、昨年度から区役所事業で3校で実施した。それまで、府の事業や教育委員会の事業で5校実施している。芝生化の経費がかかるということについては、補助事業で実施しているので、地域、保護者の方のご協力も得ているところである。大阪市の方から継続して補助できればいいが、限られた財源であるので、なかなかできていないのが現状である。維持作業及び経費について、継続していただくのは、地域、保護者のご協力は不可欠かと思う。ご意見としては承る。
- ・芝生の補助金は府の制度を基本に、区長中心でやっている。補助金は2分の1で、維持管理は3年間となっていて、3年間のようすを見て4年目以降をどうするのかの話をしている。一方で、人的な部分を物件費に換算して補助金にあてるという制度、ネイバーフッドマッチングファンドも導入した。ここも含めて4年目以降を考えていこうと思っている。
- ・芝生化が好評と言っている。また実施したいというところは、芝生を広げていきたいし、面積を広げれる場所があるならご相談いただきたい。地域との連携を深めるための事業であるので、ここも含めてやっていきたいと思う。

#### 配付資料

- ・次第
- ・分権型教育行政への転換について
- ・東淀川区役所の学校支援策の主な進捗状況について
- ・東淀川区教育行政連絡会設置要綱